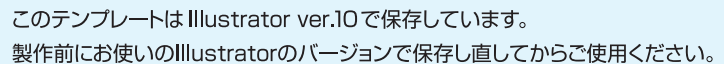


A4 3つ折用クリアファイル
SIZE:110mm×220mm



裏面

-110mm

天

表面

110mm

220mm

220mm

地

ガイド表示でチェック

ONE POINT

塗り足しココまで

仕上がり位置いっぱいまでデザインがある場合はガイドの斜線部まで塗り足し(3mm)を作成してください。

ガイド表示でチェック

ONE POINT

溶着範囲ココまで

溶着範囲も印刷可能で
すが欠けてはいけない
文字や絵柄などは配置
しないでください。

☑ ドキュメントのラスタライズ効果設定は高解像度になっていますか？
設定方法：メニューバー→効果→ドキュメントのラスタライズ効果設定→解像度（推奨_その他-350ppi）

☒ 文字はアウトライン化されていますか？

☒ リンク画像ファイルなど必要なデータは揃っていますか？

RGBのままですと予期せぬ色の変化が生じる場合がございます。

☒ 入稿データのカラーモードはCMYKになっていますか？

☒ データは正常に開きますか？

☒ 入稿データは圧縮形式になっていますか？

必要なファイル(作成データ、リンク画像など)を、フォルダにまとめて圧縮をしてください。

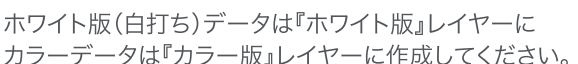
※ 絵柄を透かしたくない場合は、ホワイト版(白打ち)データを作成してください。

PP(ポリプロピレン)は透けにくい素材で、印刷すると絵柄が透けてしまいます。そのため、絵柄の下に白を印刷することによって透けを防ぎ、発色を良くすることが可能です。

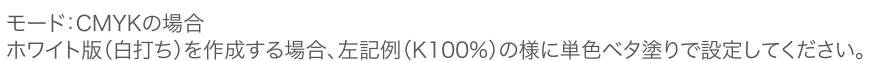
白を印刷する中々の書籍が見事に状態になります。プロセスでの白の部分は透明になりますので、白を印刷した1部分をホワイト版(K100%)で再現することになります。

クリアファイルに使用される素材は、PP素材のため印刷時に伸縮が起こる事があります。その為プロセスデータの絵柄と同じ大きさでホワイト版(白打ち)を作成すると、伸縮のズレによって白がみ出してしまいますので、ホワイト版(白打ち)の絵柄はプロセスデータの絵柄より「0.1mmパスをオフセット」して作成してください(オフセットした元のオブジェクトは必ず削除してください)。

使用レイヤーについて



ホワイト版(白打ち)のカラー設定



ホワイト版(白打ち)の作り方



ホワイト版(白打ち)の仕上がりイメージ

プロセスデータ(C100%)とホワイト版(白打ち:K100%)のレイヤー構造



プロセスデータ(C100%)とホワイト版(白打ち:K100%)を重ねた際の見え方



プロセスデータ(C100%) ホワイト版(白打ち:K100%)
原寸 -0.1mmのオフセット